

<高等技術専門校・福岡障害者職業能力開発校について>

【調査の目的】

「高等技術専門校」は、就職・転職・再就職を目指す方のために、企業が求める技術や知識を習得し、希望する職種への就職を目指すことを目的として設置されている福岡県立の公共職業訓練施設です

また、障がいのある方を対象とした訓練施設として、福岡障害者職業能力開発校があります。

昨今の雇用情勢は着実に改善が進んでおり、企業の求人も増加傾向にありますが、長期にわたり安定して企業で活躍するためには、職業訓練を受講して、基礎からしっかりと技術や知識を身に付けていくことも大切です。

そのため、福岡県では、広く県民の皆さんに高等技術専門校を知っていただき、さらに利用していただきたいと考えています。

そこで、高等技術専門校について、皆さんのご意見をお聴かせいただき、効果的な募集広報活動のための参考とさせていただきたいと考えております。

【活用状況】

- ・多くの方に来校していただく機会をつくと共に、訓練内容を分かりやすく伝えるための広報を検討したい。

<1>次の高等技術専門校（以下、福岡障害者職業能力開発校を含みます）に関する説明のうち、あなたが知っているものを【全て】選んでください。

(N=R4:379 R3:385 複数回答可 回答件数=R4:1090 R3:1027)

	R4年度		R3年度		前年度比
1 県内に7校（福岡・戸畑・小竹・久留米・大牟田・田川・小倉）ある	26.9%	(102名)	24.2%	(93名)	+ 2.7%
2 北九州市若松区に障害者職業能力開発校がある	12.1%	(46名)	13.0%	(50名)	▲ 0.9%
3 多様な訓練科目（情報処理、OA事務、自動車整備、建築、電気工事、アパレル、介護など）がある	40.9%	(155名)	35.8%	(138名)	+ 5.1%
4 6か月から2年間の訓練期間がある	26.6%	(101名)	24.7%	(95名)	+ 1.9%
5 訓練を受け、資格取得（自動車整備士、電気工事士、各種技能検定など）を手厚くサポートしてくれること	35.1%	(133名)	34.0%	(131名)	+ 1.1%
6 訓練を受けた後は、就職のあっせんや求人情報の紹介を行うなどの就職支援を行っていること	39.8%	(151名)	39.2%	(151名)	+ 0.6%
7 入校料・授業料が無料である	26.6%	(101名)	22.3%	(86名)	+ 4.3%
8 一定の条件を満たせば訓練期間中、雇用保険の延長や職業訓練受講給付金等を受けられること	31.7%	(120名)	24.9%	(96名)	+ 6.8%
9 在職者の方が、高等技術専門校に通う訓練生と一緒に、一定の期間同じ訓練を受講できること（受託生訓練）	5.8%	(22名)	3.1%	(12名)	+ 2.7%
10 託児付きの訓練科目があること	7.9%	(30名)	6.5%	(25名)	+ 1.4%
11 その他	0.8%	(3名)	2.3%	(9名)	▲ 1.5%
12 全く知らない、知らなかった	33.2%	(126名)	36.6%	(141名)	▲ 3.4%
無回答	0.0%	(0名)	0.0%	(0名)	+ 0.0%

[その他]

- ・職業訓練校があるのは知っているが、授業料が無料だったり託児所があったりするの
は知らなかった。
- ・アビリンピックに参加したことがあるので、若松にある訓練校に言った経験がありま
す。

〈2〉 高等技術専門校の魅力と感じるものについて、次に中から【3つ】まで選んでください

(N=R4:379 R3:385 複数回答可 回答件数=R4:1024 R3:1054)

	R4年度		R3年度		前年度比
1 県内各地に存在するところ (通いやすい)	30.9%	(117名)	26.8%	(103名)	+ 4.1%
2 多様な訓練科目があるところ	37.2%	(141名)	39.2%	(151名)	▲ 2.0%
3 6ヶ月から2年間の訓練期間があるところ	10.0%	(38名)	10.1%	(39名)	▲ 0.1%
4 資格を取得できるところ	62.8%	(238名)	61.8%	(238名)	+ 1.0%
5 訓練から、就職支援まで行っているところ	34.3%	(130名)	33.5%	(129名)	+ 0.8%
6 受験料・入校料・授業料が無料であるところ	59.6%	(226名)	62.6%	(241名)	▲ 3.0%
7 一定の条件を満たせば訓練期間中雇用保険の延長や 職業訓練受講給付金等を受けられるところ	17.2%	(65名)	17.9%	(69名)	▲ 0.7%
8 在職者の方が高等技術専門校に通う訓練生と一緒に ある期間同じ訓練を受講できること (受託生訓練)	4.0%	(15名)	4.2%	(16名)	▲ 0.2%
9 託児付きの訓練科目があるところ	13.2%	(50名)	15.3%	(59名)	▲ 2.1%
10 その他	1.1%	(4名)	2.3%	(9名)	▲ 1.2%
	無回答	0.0% (0名)	0.0% (0名)		+ 0.0%

[その他] 一部抜粋

- ・知人のレベルでの実際の体験を聞いたところ、学校終了後に技能が生かせなくて結果を出
せなかった。訓練期間中に手当(失業保険)をいただいたメリットしか感じなかった。先生
たちも公務員的な人ばかりで、まさに役場のような普通の熱気しか感じず、もっと民間の
力が入り込まないと成果は望めないと思った。
- ・父親が受講していましたが、若年層への周知が皆無と言って良いほどです。義務教育期間
に政治・就労・投資の教育を強化すべきです。
- ・高等技術専門校を知らない。

〈3〉公共職業訓練を広く県民の皆さまに知っていただくために、どのような広報媒体が有効であると思いますか。

次の中から【3つまで】選んでください。

(N=R4:379 R3:385 複数回答可 回答件数=R4:999 R3:1048)

	R4年度		R3年度		前年度比
1 ポスター・ちらし	37.7%	(143名)	46.5%	(179名)	▲ 8.8%
2 ホームページ「福岡県の職業訓練」 (http://fukuoka-kunren.ac.jp/)	31.1%	(118名)	25.5%	(98名)	+ 5.6%
3 ツイッター・インスタグラム・フェイスブックなどのSNS	55.7%	(211名)	52.5%	(202名)	+ 3.2%
4 福岡県だより	26.9%	(102名)	35.6%	(137名)	▲ 8.7%
5 各市町村広報誌	35.6%	(135名)	33.5%	(129名)	+ 2.1%
6 各企業団体の業界紙	5.3%	(20名)	4.4%	(17名)	+ 0.9%
7 新聞	14.8%	(56名)	17.7%	(68名)	▲ 2.9%
8 ラジオ番組	7.1%	(27名)	9.1%	(35名)	▲ 2.0%
9 テレビ番組	46.2%	(175名)	41.3%	(159名)	+ 4.9%
10 その他（具体的に）	3.2%	(12名)	6.2%	(24名)	▲ 3.0%
	無回答	0.0% (0名)	0.0% (0名)	0.0% (0名)	+ 0.0%

〔その他〕一部抜粋

- ・YouTube、YouTube 広告、テレビCM
- ・図書館にポスターなどを設置。若い人はハローワークに行っても倍率が高いので余り行かないため、タウンワークやネット求人に案内を明記する。
- ・給付金を貰って就職支援を受けるのだから、本気で就職したい人に受けて欲しい。ハローワーク等や市町村の生活支援等が広報するのが良いと思う。
- ・中学生・高校生に、このような選択肢があることを社会科の時間などに組み込んでもらう。
- ・卒業された方の体験談をオンラインで聞く機会
- ・小中高、大学の授業の一環で見学
- ・一般市民向けのイベント。民間とのタイアップを図るべきです。

〈4〉本県の各高等技術専門校における職業訓練を知っていただくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

次の中から【3つまで】選んでください。

(N=R4:379 R3:385 複数回答可 回答件数=R4:998 R3:1006)

	R4年度		R3年度		前年度比
1 オープンキャンパス（校内見学・訓練の体験）を行っていることについて積極的に広報を行う	64.6%	(245名)	59.0%	(227名)	+ 5.6%
2 オンラインで見学会や相談会を実施する	41.4%	(157名)	34.5%	(133名)	+ 6.9%
3 高等技術専門校内で夏祭り等のイベントを開催し、地域に開かれた施設にする	26.1%	(99名)	30.1%	(116名)	▲ 4.0%
4 受託生訓練を利用してもらい、企業と技専校の連携を密にする	19.3%	(73名)	25.5%	(98名)	▲ 6.2%
5 地域の小・中学生を招待し、ものづくりについての体験をしてもらう	36.9%	(140名)	42.1%	(162名)	▲ 5.2%
6 高等技術専門校として地域のイベントに参加する	15.6%	(59名)	14.8%	(57名)	+ 0.8%
7 地域の大型ショッピングモール等で体験イベント等を実施する	38.5%	(146名)	38.5%	(132名)	+ 0.0%
8 県政モニターの方に高等技術専門校のオープンキャンパスに参加いただく	17.7%	(67名)	16.1%	(62名)	+ 1.6%
9 その他	3.2%	(12名)	4.9%	(19名)	▲ 1.7%
無回答	0.0%	(0名)	0.0%	(0名)	+ 0.0%

〔その他〕一部抜粋

- ・ ハローワーク利用者への、オープンキャンパスや相談会への参加推進
- ・ 想定される受講者が中高および大学の新規卒業生の中で就職できなかった学生や失業中の職員であれば、前問のような媒体を見るところとは思えない。それよりもそれらの受講対象者やその家族の目に留まるようにするのであれば、各校の教職員者への教宣を日頃より行うべきと思います。
- ・ テレビの番組でその都度取り上げて紹介したらどうでしょうか。
- ・ 今までの広告媒体で周知では、全く知らない人たちには情報が広がらないと思うので、SNS やユーチューブ等を駆使して一次ソースを幅広く周知
- ・ 全年齢帯に一律 PR は難しいと思います。
若者向けに SNS、中高年以上向けにはアナログなやり方を使い分けることが肝要だと思います。
- ・ 地域の人達は既に存在があるので薄々は知っていると思う。県内の小、中学校で講演会やオンライン授業による職業訓練体験をする。または、YouTube 動画を使って紹介などをしていくと小さい頃から知識としてその存在が広く定着し、将来的に周知され、利用の敷居が下がると思う。
- ・ ハローワーク、就職情報サイトなど。中学校への出前講座。
- ・ YouTube チャンネルをつくって積極的にわかりやすくアピールする。
- ・ 知らないのに、オープンキャンパスは行けないと思う。
ハローワークや、ショッピングモールなど大型施設でポスターなど貼ると宣伝になると思う。そして、ホームページで内容が分かりやすく見ることが出来ると良いと思う。

〈5〉高等技術専門校や福岡障害者職業能力開発校について、これまでの設問以外に意見がありますか。

(N=R4:379 R3:385)

	R4年度		R3年度	
ある	36.10%	(137名)	11.70%	(45名)

〔その他〕一部抜粋

- ・ 公共職業訓練をより多くの人に知ってもらう事により、必要でありながらこういった場を知らなかった人も職業訓練を行うことができるようになり、障がい者の社会参加の促進につながると思う。
- ・ 不登校の子どもが増えているので、そういう子達が進んで行けるような所だと親も将来の安心材料になると思います。
- ・ 友達が受講していたので、興味があったが、受講できる職業訓練の職種が多ければいいと思う。興味があっても、自分の居住地から遠すぎるとかもあり、今の時代にあったオンライン授業とかを含めた授業がもっとあればいいと思う。実習の時は出るが。
- ・ 私の住んで居る近辺に高等技術専門学校があることは知っていたが、どのような人を対象としているのかまでは知らない。学校祭を行って地域の人々や関連しそうな所に広報して、学校の内容や活動を周知するようなイベントを開催したらどうだろうか。既にそのような活動を行っているが、私が知らないだけなのかさえ分からない。PRが足りないと思います。就職率やオープンキャンパス、新聞での学校紹介、特に学生の生の言葉を掲載するなど。
- ・ 小学校や中学校に対するPR活動を積極的に展開願いたい。小中学校は自治体が設置しており、県の取り組みが伝わりにくい。
- ・ 通い易い場所にはあるが、その通い易い場所が習いたい項目を受講できないのもっと受講できる項目をふやしてほしい。
- ・ 訓練校には是非健常者も利用するようなしくみにしてほしいです。例えば、(最近の九工大戸畑本校が例になりますが)訓練校の近くや内部にコワーキングスペースを設けて、実際に健常者がいる職場をつくることで、今度は障がい者のインターンをそこでやってもらおうとかどうでしょうか。